

会 報

担任学研究会 (会長 小西 悦子)

連絡先〒330-0855 さいたま市大宮区上小町12-4

事務局 中沢 辰夫方 電話/fax 048(653)1290

<http://tanningaku.no.coocan.jp/>

新型コロナが5類になって約1年、通常通りのGWも過ぎ、マスク姿も徐々に少なくなっていく感じがします。皆様にはご健勝のことと思います。

本研究会も、昨年に引き続き対面での総会と学習会を開くことができました。2024年3月31日(日)に新渡戸文化学園中学・高校内のハピネスホールで実施した「担任学研究会・第29回総会」「第34回学習会」の概要をお知らせします。

29回総会報告

1. 会長あいさつ 小西 悦子
2. 議事
 - (1) 2023年度 事業報告・決算報告
 - (2) 会則の確認について
 - (3) 役員確認
 - (4) 2024年度 事業計画案・予算案
 - (5) その他
3. 連絡

会費振込時のお願い

振込料金は加入者(担任学研究会)が負担していますので、振込時に郵便局の窓口ではなくATMを利用していただくと、振込料は110円で済みます。受取人の負担金も152円となります。

ゆうちょ銀行の通帳やカードがある方は通帳・カード扱いでATMでお振込みください。振込料は無料です。

「ゆうちょダイレクト」や一般銀行のインターネットバンキングを利用されると振込料が少額に抑えられます。また契約によって無料になることもあります。銀行ごとに違うようですが便利です。

一般銀行のネットを使った振り込みをした場合の例

私(編集担当者)が使っている銀行(埼玉りそな銀行)では手数料は82円でした。手数料は振込者の負担になります。振込手数料は月に数件までは無料だったり、有料だったり、預貯金の額や、クレジットカードやキャッシュカードの種類、利用している内容、金額などで、細かく差別化されているようです。自宅で最初に設定する時にも色々セキュリティの関係でできないことがあって、結局銀行の窓口に行き行って最初の設定をする必要がありました。でも1回設定すればPCからでもスマホからでも自由自在です。ゆうちょ銀行の振込先口座番号は、担任学の口座番号(00110-6-338259)ではなく、それをネットで使えるように変換した「0338259」という番号になります。支店名は店番の「019」になります。

2023(令和5)年度 事業報告・決算報告

2023年度 事業報告(2023年4月~2024年3月)

- 2023年5月 会報36号の発行
- 『月刊 生徒指導』に連載執筆
- 理想教育財団 通信作りの知恵袋内の「学級通信 お役立ちコラム」を連載執筆
- ホームページ改訂
- 会員名簿の作成(2024年3月時点会員43名(学校加入1校))
- 2023年8月『高等学校所見文例集』出版
- 2024年3月 令和5年度総会(第29回総会)実施、第34回学習会実施

事業報告の後、令和5年3月25日～令和6年3月30日までの会計決算報告が行われました。

2024（令和6）年度の事業計画（案）は以下の通りです。また令和6年度の会計予算書については、例年よりも繰越金が約10万円少なく、予算額は355,502円となっています。

令和5年度 会計 総括	
前年度繰越金	400,841円
収入総額	422,841円
支出総額	107,339円
差引残高	315,502円 (次年度繰越)

2024（令和6）年度 事業計画案・予算案

2024年度 事業計画案（2024年4月～2025年3月）

- 2024年5月 会報37号の発行
- 『月刊 生徒指導』に連載執筆
- 理想教育財団 通信作りの知恵袋内の「学級通信 お役立ちコラム」を連載執筆
- ホームページの改訂
- 2024年7月『改訂版 高等学校 調査書・推薦書記入文例&指導例』出版予定
- 会員名簿の作成
- 担任学研究会発展のための事業検討
- 2025年3月 第30回総会・第35回学習会

担任学研究会 2024年度役員

役職	氏名	所属
会長	小西 悦子	東京女子体育大学
副会長・事務局長	中沢 辰夫	東京未来大学
副会長	村木 晃	東京学芸大学
理事	関口 武史	都立竹早高校
理事	奥西 真澄	大学図書出版
理事	戸田 幸子	学事出版
理事・会計	小林 雅実	都立三田高校・大泉高校
理事	高橋 伸明	新渡戸文化中学・高校
理事	田村 基成	東海大学付属望星高校
会計監査	斎藤 元治	
会計監査	柳 久美子	東京都教育相談センター

担任学研究会 2024年度 常任理事

役職	氏名	所属
会長	小西 悦子	東京女子体育大学
副会長・事務局長	中沢 辰夫	東京未来大学
副会長	村木 晃	東京学芸大学
理事	戸田 幸子	学事出版
理事	関口 武史	都立竹早高校
理事	田村 基成	東海大学付属望星高校
理事・会計	小林 雅実	都立三田高校・大泉高校
理事	高橋 伸明	新渡戸文化中学・高校

2024年度の役員、常任理事は上記の通りです。今回は昨年度と変更はありません。

「第34回学習会」

●学習会「その探究活動が『わたし』と未来を変えていく」

●グループワークと研究協議

講師



高橋 伸明 氏



新渡戸文化中学校・高等学校(専任教諭)
玉川大学教育学部(非常勤講師)
早稲田大学大学院(博士後期課程)
中野区子ども教育部「若者会議」

◇学習会の様子（写真）

開始時の会長あいさつ



新渡戸の探究学習の説明



発表の準備をする生徒たち



様々な「ラボ」を体験し学び合う参加者たち



1グループ4、5人に分かれて「プロジェクト」体験のワークをする参加者たち



◇学習会全体の概要と発表生徒たちの成長

新渡戸学園には、生徒が希望するテーマに分かれて探究活動を行う「ラボ活動」があります。大学でいうゼミや研究室のようなものといったイメージでしょうか。

今回の学習会では、学園全体で取り組んでいるSDGsのテーマのもと、中学生が活動した「おりがみ作り」の経緯と内容を発表してくれました。その「おりがみ」というのが、FSC認証（管理された森林からの林産物を使用した製品である証）を受けた紙からできていて、その裏面に森林の破壊が進むことによって絶滅が危惧される動物についての説明を入れたものという画期的な発想から生まれたものでした。その過程では、上野動物園へ行き、絶滅危惧種の動物を自分の目で確かめたり、様々な企業の取材を行いプレゼンをするなど、頭だけではなく足も手も使いな



がら進めたのでした。

その2年間の努力が実って、なんと、日本初の「FSC認証おりがみ」として株式会社「美創」の協力で製品化されました(右の写真)。さらに、この取組が評価されて、「FSCマーク」を普及するためのアイデアコンテスト「FSC Oアワード」において、中学生部門(124組参加)の最優秀賞の受賞にまで至ったのです。学習会では、参加者全員がグループ別に分かれて中学生や高校生からの解説を受けながら、「おりがみ折り」にも挑戦したのでした。見事な「鶴」を披露してくださる方もおられました。

また高校生の発表では、日本NIE学会主催「NIE 生徒研究発表会」において優秀研究賞を受賞した、選択授業の「国語表現」での取組を紹介してくれました。その後、各グループに分かれた参加者のなかに一人ずつ加わって、配布された大量の新聞を使って、「最近の気になる記事を深掘りしていく」という実際の授業実践のスタイルで討論しました。各グループから出された「こんなプロジェクトを立ち上げてみたい」の内容は高校生達のアドバイスが活かされ、なかなか興味深いものでした。

講師を務めてくださった高橋先生は、学習会のために大量の「道具(資料や文具等)」の用意と主役である中高生との打ち合わせなど、準備段階から奔走してくださっていました。そして会の中では、誰が聞いても一回で理解できてしまう優れた説明力・解説力を発揮してくださり、グループワークの最中も参加者と生徒達をつなぐ役割に東奔西走してくださっていました。さぞお疲れだと推察しましたが、会終了後には、流れる汗とともに私たちに何とも表現できない笑顔を見せてくださいました。その素敵な笑顔が教えてくれることが、高橋先生がここまで「頑張り続けられること」の意味なのではと思います。新渡戸学園で先生が出会ってきた生徒さん達は、この学習会でみせてくれたように、まさに「なりたい自分」へと変化し、「創りたい社会」の主役となるべく飛び出していきわけです。その姿を、授業やラボ活動を通じて目の当たりにできる喜びを高橋先生は知ってしまったのではないのでしょうか。その喜びこそが、いまの高橋先生の教育実践の原動力なのではないかと思うのです。だから、どんなに奔走し体が疲れていても、笑顔で「頑張り続けられる」のだと思うのです。私にとっても、「原点」を思い起こされた一日でした。

最後に、学習会の片付けまでお手伝いくださった生徒さん数名にインタビューをしましたので、その声を紹介します。今回のテーマでもある「その探究活動が『わたし』と未来を変えていく」をそのまま体現している『わたし』の声です。



・私はこんな人間じゃなかったんです。人前で何か話せるような、こんな人じゃなかったんです。でも、先生から「プレゼンしろ」「会社に連絡取るから行ってご覧」とか言われて(嬉しそうに)、180度変わらせられました。

・(はにかみながら親指と人差し指で)ほんのちょっとだけ変わったかな。元々、学校と家の往復だけのインドア派だったけど、会社に出て行ったり社会人とかが話ができるようになってから、外を歩き回ることや人と出会うことがこんなに楽しいものだ気づかされました。大人って、私たちとは違う意見や面白さを持っているんですね。もっと意見が聞きたい。もっと出会ってみたい。そんなことが楽しいって思えるような人間になっちゃった!

・私は何かに一生懸命に取り組めるような生徒ではなかったんです。でも、地元のボランティアや行事(お祭り)に関わったら、自分の住むこの町を活性化したいと思うようになって、このことを大学に行ってテーマにしたいと考えました。

(質問: やがてどんな職業に就きたいですか?) 市役所に入って地域おこしの仕事がしたいで

す。

自分で「変わっていった。気づいていった」のですね、きっと。高橋先生は、生徒全体を見れば課題はいろいろあると仰ってましたが、こんなふうに変化(成長)する生徒さん達に伴走できる学校の先生は、真に「冥利に尽きる」のかもしれない。

(この項の文責 村木)

◇「学習会参加者のアンケート (19/32)」

(S. K) 気温差が20℃あり、真夏の東京で、こんなにもアツイ研究会に参加できたことが何よりも来た甲斐がありました。また来年も楽しみです。生徒の姿に活力を得ることができました。ありがとうございました。

(U. H) 生徒さんのファシリテーションや質疑応答での受けこたえがすごくスムーズで洗練されていると思いました。高橋先生はじめ先生方の伴走やつながりづくりのご尽力に感服いたしました。ありがとうございます。次年度の探究活動支援につなげたいです。探究のありかたについてイメージがすこし変わりました。

(N. K) トーヨコプロジェクトで視点の変化を追いかけていく点は感動しました。「〇〇×対話」「一緒にやろう!!」「細くても切れない信頼関係」たくさんのキーワードをいただきました。ありがとうございました。

(M. T) 探究における教員の役割が鮮明になりました。今抱えているモヤモヤが少し晴れた気がします。新渡戸の生徒さんや高橋先生から得た学びを、本校で生かしたいと思います。ありがとうございました。

(K. R) 楽しい機会をつくってくださってありがとうございました。違う職業、いろんな人と話すことが良かったです。

(Y. M) 生徒主体の活動内容に圧倒されました。楽しかったです。ありがとうございました。

(N. H) 中高生のポテンシャルに大変おどろき未来が楽しみになりました。かなり充実したワークでした。ぜひきっかけにアクションをおこしていきたいと思います。学び続ける大人を目指します。

(I. M) ひさびさにこういう学習会に参加させていただき、新鮮な気持ちになれました。のぶ先生、小西先生、有難うございました。実際に生徒さんの生の声が聞けて良かったです。

(K. M) 他校の先生方だけではなく、高校生と一緒に活動ができ、新しい形の学習会で、多くの発見と学びがありました。とても楽しいひと時でした。生徒の方々がしっかりと自分の考えを持ちそれを表現していることに驚きと感動がありました。授業での取り組みによる成果のたまものだと思います。

(W. E) とても有意義な時間でした。ありがとうございました。名古屋から来た甲斐がありました！

(M. T) 中高生のプロジェクトがすごいと思いました。大人もアクションしなくてはと思います。

(T. T) 生徒の話の聞けたり、実際の授業を体験できた。コンピテンシーの育成、データサイエンス。

(N. Y) 御校の取り組み事例など、大変勉強になりました。

(I. M) プロジェクトの考え方等、本校ではまだ難しいが、勉強になった。新聞記事を使ったワークショップなど、授業にも応用できそうなものもあり、参考になりました。ありがとうございました。

(T. S) 中高のがんばりをいかに大学人につなげるのか。溝をいかに埋めるか！！大学人の責任をつよく感じます。皆様のがんばりに対して最高の拍手をおくりさせていただきます。ありがとうございました。

(M. H) 様々な授業研究会に参加してきましたが、授業参観、模擬授業などはありましたが、生徒と一緒にグループワークでの学びは、大変刺激的でした。

また、多様な参加者が集まっていた学習会で、立場を超えてPBLの意味を考えることができましたこと、ありがとうございました。

大学入試が総合型選抜(A0入試)に移行しつつあるなか、探究活動が進路保障面でも重要になっている時代変化を感じました。

一方で、公立学校では、なかなか一般入試向けの暗記型授業からの転換を図ることが難しいなか、「個別最適な学び」としての教育政策が、結果として社会階層の分断を懸念しています……。

学級担任制度そのものが転換期を迎え、学級担任を廃止しチーム指導体制に移行する学校もでてくるなか、日本の学校文化を象徴するクラス(学級)のまとまりをどの様に考えるのかなども、あと20年もすれば議論の俎上に出てくるのかな、などと思いました。

昨日は、貴重な時間をありがとうございました。今後ともご指導よろしく申し上げます。

(N. T) 偏差値や記憶力、大学入学共通テストなどの得点力で序列化される社会がなくなるために、新渡戸の生徒たちは大きな役割を果たしているように思います。このような生徒たちにこそ、国民の税金が多く支出される東大のような大学に行って欲しいな、と思いながら、ふとドラゴン桜で東大に行く生徒と新渡戸の生徒が重なって見えました。

(T. S) とても充実した学習会に参加させていただき、ありがとうございました。高橋先生の生の授業の様子や、講演をお聞きする貴重な体験でした。また、生徒と隣の席でグループワークをしたのもとても貴重でした。

(S. R) 生徒の発表内容や資料はもちろんグループワークで一緒になった〇〇さんの受け答えや経験談にも驚くばかりです。貴校での取り組みが生徒を大きく変えていくことと同時に、私自身も変わらなければならぬことに気づかされた時間でした。また機会がありましたら、お声がけください！国語科としての変容を学びたいです！

(アンケート文責：中沢)

担任学研究会の書籍紹介 (学事出版)

最寄の書店、または学事出版 (電話 03-3253-4626 FAX 0120-655-514 HP <http://www.gakuji.co.jp>)

でお買い求めください。

①担任学研究会編『**高等学校 所見文例集**』

生徒指導要録や調査書等で使える所見文例集の決定版。多様な生徒一人ひとりの性格や活動・活躍ごとに文例を分類してわかりやすく解説しています。約1400文例を掲載しています。

2023年初版 定価3,000円（税抜き）

②担任学研究会編『**高等学校生徒指導要録 記入文例**』令和4年度からの新学習指導要領に対応

2012年初版の三訂版です。平成30年3月告示の学習指導要領に準拠した高等学校生徒指導要録の記入方法について、実際に即した記入例、文例を示しました。充実した解説や、「これって、どう書いたらいいの？」という疑問にも「Q&A」等で答えています。また、巻末の「ネガポジ用語集」や「様式例」はそのまま活用できる形になっています。

2022年6月初版 定価2,200円（税抜き）

③担任学研究会編『**高等学校 調査書・推薦書 記入文例&指導例**』～活動報告書・大学入学希望理由書・学習計画書から就職者用履歴書まで～

平成30年3月告示の学習指導要領に準拠して改訂し、大学入学共通テスト等、大学入試改革にも対応した、高等学校の進学と就職関連書類の記入文例と指導実践の決定版。

文部科学省通達による様式変更にも対応。記入文例は、履歴書の「ビフォー・アフター」を記載するなど、これまでにない画期的な指導書として改善・充実しました。2020年初版 定価2,200円（税抜き）
（2025年入試に対応した改訂版を作成中（2024年7月出版予定））

④担任学研究会編著 『**クラス担任が自信をもって「語る」12か月**』

4月の入学式から3月の卒業式まで、担任が生徒や保護者の前で「語る」場面を設定し、「語る」実例全文・解説ポイントを見開き2ページ構成でまとめました。いつも手元に置いて、「どう語ろうか」と悩んだときにサッと開いて活用できます。担任の心強いバイブルとなるでしょう。

2015年初版 定価1,600円（税抜き）

◇連載執筆中

④『月刊 生徒指導』

生徒指導の月刊誌です。生徒指導の理論と実践、様々なQ&A、すぐ使える資料など、毎月的话题を中心に生徒指導の考え方と実務が身につく記事が豊富です。「あのときの保護者・生徒・教師」を担当学研究会で連載執筆しています。

定価880円（税抜き）

◇既刊書

①



②



③



④



⑤



「第30回総会、第35回学習会」を2025年3月末に開く予定です。来年2月頃には詳しい内容をお知らせしますので、ご都合がつく方はぜひご参加をお願いします。